

氏名	森 正樹 (モリマツ)	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	特別支援教育、臨床発達心理学、学校コンサルテーション・保育コンサルテーション				
学位	修士（教育学）				
学歴	東京学芸大学教育学部特殊教育学科卒業(1991年3月) 東京学芸大学大学院修士課程教育学研究科修了(2003年3月)				
経歴	社会福祉法人昴、宝仙学園短期大学保育学科非常勤講師、東京学芸大学教育学部非常勤講師、埼玉純真女子短期大学こども学科助教授、埼玉大学教育学部非常勤講師、埼玉県立大学保健医療福祉学部非常勤講師を経て現職				
所属学会（役職）	日本発達心理学会・日本発達障害学会・日本特殊教育学会・保健医療福祉科学学会・日本臨床発達心理士会（「臨床発達心理実践研究」常任編集委員）				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	新しいIPWを学ぶ 利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携	共著	あり	中央法規 第8章-2節 発達障害生徒の教育的支援の実例 (220頁-226頁)	埼玉県立大学 編集	2022.4.20
2	心と体の健康 (27巻 第2号)	共著	あり	健学社 (35頁-72頁)	学校保健教育研究会	2023.2.1
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	実践誌編集委員会企画 実践論文の書き方講習会～投稿者の体験に学ぶ～	共著		日本臨床発達心理士会第18回全国大会(オンデマンド)	竹澤大史・三宅篤子・森正樹・西山剛司	2022年8月27日 - 2022年9月11日
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	発達障害論	○	15	発達障害の特性理解と支援方法について、学生が主体的に学習できるように、各種資料・仮想事例を準備してグループワークを実施。学生により深い理解と発展的思考を促すための発問・設問を工夫した。		
2	教育心理学	○	15	教職志望の学生が発達理論や、学習・認知・社会性等の理論を実際の児童生徒の姿に関連付けて理解できるように各種資料、発問・設問を準備。教育現場や児童生徒の実態に即した解説を行った。		
3	人間発達学①	○	15	生涯発達を身近な体験や事象に関連づける視点の提供を心がけた。写真資料やエピソード等、具体的な素材を活用するとともに、学生が主体的に考えるための発問を工夫して授業内容に採り入れた。		
4	人間発達学②	○	15	生涯発達を身近な体験や事象に関連づける視点の提供を心がけた。写真資料やエピソード等、具体的な素材を活用するとともに、学生が主体的に考えるための発問を工夫して授業内容に採り入れた。		
5	教育相談	○	15	いじめ・不登校・発達障害等について、現今の教育現場の実態と課題を学ぶ実践的な学習機会を提供。児童生徒への関わりをグループワークやロールプレイなどで学ぶ、実践的な授業内容を工夫した。		
6	特別な保育・教育ニーズの理解と支援		7	障害のある子どもと家族の理解と支援に関して、事例や映像等を活用し実践的学習の機会を提供。自身の研究と支援活動に依拠した授業用資料（モデル事例）を作成し、グループワークを行った。		

7	子ども家庭支援の心理学	○	15	家族理解と支援の視点に関して、仮想事例や映像教材等を活用して実践的授業を進めた。自身の研究と支援活動に依拠した授業用資料を作成（架空事例）。これをもとにグループワークを展開した。
8	特別支援教育	○	8	発達障害など特別な教育的支援を要する児童生徒の実態と指導方法を具体的に理解できるように、映像教材を作成・活用した。自身の実践経験もふまえ、より具体的・実践的な授業内容を目指した。
9	コンサルテーション論（大学院）	○	2	自身の著作等を活用し、発達障害児の支援に関する学校現場のコンサルテーションを授業の中で再現。学生がコンサルタントやコンサルティの役割を疑似体験する授業内容を計画・実施した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	カウンセリング技法③		15	紙上訓練・模擬面接・ロールプレイ等で、対人援助に必要なコミュニケーション技術の体験的学習の機会を提供。学生と教員間、学生間の相互性の高い授業を目指した。学生の自己理解の観点も提供した。
2	カウンセリング技法⑥		15	紙上訓練・模擬面接・ロールプレイ等で、対人援助に必要なコミュニケーション技術の体験的学習の機会を提供。学生と教員間、学生間の相互性の高い授業を目指した。学生の自己理解の観点も提供した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習	○	9.26-9.30	感染防止のため医療福祉の現場ではなく、講演や課題、映像資料の視聴、グループワークの機会を設定。各グループを巡視し学生の主体的学習や相互作用を促進する関与を、必要に応じ適宜行った。
2	養護実習		5-6月中	養護教諭志望の学生の巡視指導を埼玉県内の公立学校で実施。当該学生に指導案、教材研究、授業での発問や児童生徒とのコミュニケーションの配慮等に関する実践的助言、相談等を行なった。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主旨導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.1月-2023.3月	主旨導	3名 副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	令和4年度埼玉県特別支援教育コーディネーター研修会 特別支援学校基礎コース	埼玉県総合教育センター	「学校コンサルテーションの在り方について」	2022.6.8
2	令和4年度さいたま市教育委員会 免許法認定講習（特別支援教育）	さいたま市教育委員会	「講座C 発達障害教育総論」	2022.8.2
3	令和4年度埼玉県立騎西特別支援学校・久喜特別支援学校 特別支援教育研修会	埼玉県立騎西特別支援学校・久喜特別支援学校（共同開催）	「障害のある子どもの家族と支援者の信頼関係～架空事例から学ぶ着眼点と心構え～」	2022.8.9
4	令和4年度 包括的的学生支援プロジェクト	学校法人堀井学園 横浜横浜創英大学	「学生理解を深める研修会・発達障害のある学生への支援」	2022.8.26
5	令和4年度足立区内中学校特別支援教室担当者会	足立区特別支援教室 千住・中央ブロック	「教育的支援の着眼点と考えるヒント」	2022.8.30
6	吉川保育園 園内研修	社会福祉法人さかえの会	「障害児保育実践に関する研修会」	2022.10・5
7	埼玉未来大学（川越学園）	埼玉未来大学（川越学園）	「心をつなぐコミュニケーション」	2022.10.6
8	自治医科大学 エディケーションナース（EdNs）研修会	自治医科大学	「多様な人に対する教育的かかわり方～発達障害に着目して～」	2022.11.21
9	令和4年度 志木市保育園職員研修会	志木市子ども・健康部 保育課	「発達の気になる子どもの豊かな育ちと保育実践の可能性①」	2022.12.23
10	令和4年度共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム研修会	埼玉県特別支援教育課	「切れ目のない支援体制の構築に向けて～学校コンサルテーションに着目して～」	2023.2.2

11	障害のある学生支援研修会	埼玉県立大学学生支援委員会	「発達障害の理解と教育的支援」	2023.2.15
12	令和4年度 児童虐待対応キーパーソン養成研修会	埼玉県子ども安全課	「架空事例で学ぶ対人援助の心構え～障害のある子どもの保護者との関わり～」	2023.2.20
13	令和4年度 志木市保育園職員研修会	志木市子ども・健康部 保育課	「発達の気になる子どもの豊かな育ちと保育実践の可能性②」	2023.2.27
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	埼玉県教育委員会 特別支援教育科		埼玉県障害児就学支援委員会委員	現在に至る
2	埼玉県立春日部特別支援学校		学校評議員	現在に至る
3	埼玉県立越谷西特別支援学校		学校評議員	現在に至る
4	越谷市教育委員会		発達支援訪問指導事業指導者	現在に至る
6	三芳町教育委員会		特別支援教育アドバイザー	現在に至る
7	志木市健康福祉部子ども家庭課		障がい児保育巡回指導指導者	現在に至る
8	狭山市教育センター		専門家巡回支援事業指導者	現在に至る
9	鴻巣市立教育支援センター		通級指導教室スーパーバイザー	現在に至る
10	社会福祉法人 昴 共生社会研究所		所友	現在に至る
11	日本発達障害学会		日本発達障害学会評議委員	現在に至る
12	臨床発達心理実践研究編集委員会		常任編集委員	～2023.3.31
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務	障害学生アドバイザー（発達障害部門）		現在に至る
2	全学的委員会及びセンター業務	ダイバーシティ委員会（育児・介護部門）		現在に至る
3	大学広報活動	埼玉県立大学オープンキャンパス企画・開催（教職課程相談会）		2022年6月・8月
4	学生支援（卒業生を含む）	教職ホームカミングデー企画・開催		2022年10月
5	学生支援（卒業生）	現職者コンサルテーション（教員等の専門職）		2022年11月～2023年2月
6	学科等における委員会等	研究誌『子ども・教職研究』編集委員会・編集委員長		現在に至る
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	埼玉県立大学 道学教師理事長賞	埼玉県立大学理事長 田中滋		2023.2.28
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	公認心理師（2022年9月登録）			